

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 生涯学習の充実  
 基本事業 生涯学習機会の充実

事業名 **情報図書館展示室事業**

[0445]

|    |       |        |      |          |      |
|----|-------|--------|------|----------|------|
| 部名 | 教育部   | 事業開始年度 | - 年度 | 実施計画事業認定 | 非対象  |
| 課名 | 情報図書館 | 事業終了年度 | - 年度 | 会計区分     | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 |  |
|------------|--|
| 対象         | (誰、何に対して事業を行うのか)<br>市民                                   |
| 意図         | (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)<br>図書館への関心を喚起して日常的な利用の働きかけをする |
| 手段         | (事務事業の内容、やり方、手段)<br>展示室で、図書資料などの展示会を企画する。                |

| 事業量・コスト指標の推移   |         |    |         |         |         |         |
|----------------|---------|----|---------|---------|---------|---------|
| 区分             |         | 単位 | 21年度実績  | 22年度実績  | 23年度実績  | 24年度当初  |
| 対象指標1          | 市民      | 人  | 122,568 | 122,138 | 121,705 | 121,705 |
| 対象指標2          |         |    |         |         |         |         |
| 活動指標1          | 展示会開催数  | 回  | 3       | 2       | 3       | 3       |
| 活動指標2          |         |    |         |         |         |         |
| 成果指標1          | 展示室入場者数 | 人  | 790     | 525     | 980     | 800     |
| 成果指標2          |         |    |         |         |         |         |
| 単位コスト指標        |         |    |         |         |         |         |
| 事業費計 (A)       |         | 千円 | 71      | 49      | 57      | 90      |
| 正職員人件費 (B)     |         | 千円 | 1,660   | 1,612   | 1,605   | 1,619   |
|                |         |    |         |         |         |         |
| 総事業費 (A) + (B) |         | 千円 | 1,731   | 1,661   | 1,662   | 1,709   |

| 費用内訳 |          |
|------|----------|
| 23年度 | 需用費 57千円 |

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始  
背景

事業を  
取り巻く  
環境変化

### 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

貴重な所蔵資料を図書の利用者に展示することにより利用増に貢献している。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

生涯学習機会の充実に貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

日頃目に触れることの少ない図書資料をテーマに合わせ展示することにより 図書等への関心が高まり利用者増に貢献していると考えられる。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

企画や運営のあり方を工夫することにより図書館への関心、利用を高める一助となる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

展示物は図書館所蔵の書籍等を使用しており 展示等の装飾の消耗品等、必要最低限の経費で実施している。